

目次

サンプル土壌の登録	2
準備	
土壌採取	
サンプル土壌の登録	
サンプル調製準備	3
洗浄瓶	
計量スプーン	
シリンジ	
シリンジフィルター・プラスチック針	
土壌種類と採取量の確認	
抽出液・希釈液の必要量	
サンプル調製に使用する土量	
サンプル調製	6
抽出液	
希釈液	
パックテスト	
測定	

サンプル土壌の登録

準備

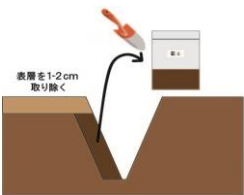


スターキットの、土壌採取用チャック付き袋5枚に、QRコードシールを1枚ずつ貼ります。

(予備のQRコードシール2枚は保管し、袋に貼ったシールが汚れるなどして読み取れなくなった時に使用してください。)



土壌採取



スコップを使用して、表層（1～2cm）の土を取り除いてから、深さ15-20cm付近の土を、QRコードシールを貼ったチャック付き袋に土壌を採取します。


(QRコードが土で汚れないように注意してください。)

サンプル土壌の登録



土壌を採取したその場で、アプリを起動します。



アプリのホーム画面で  をタップし、サンプル撮影画面を開きます。位置情報の利用やカメラへのアクセスを許可してください。

チャック付き袋に貼ったQRコードが画面に映るように、iPhoneまたはiPadを動かします。



QRコードを読み取り、圃場作物、土壌種類の設定を確認します。

サンプル土壌の登録は終了です。

サンプル調製準備

洗浄瓶



2つの洗浄瓶を区別するために、抽出液・希釈液のシールをそれぞれに貼ります。



抽出液・希釈液をボトルから洗浄瓶に移します。抽出液、希釈液を使用する量だけ移してください。

※必要量はp5の表を参照

抽出液はサンプルの数だけ、洗浄瓶から抽出用ポリ容器（黄色のふた）に移しておきます。

※必要量はp5の表を参照

計量スプーン



土壌種類によって、抽出に使用する土の量が変わるので、土壌種類に合ったサイズの計量スプーンを、キットの中から取り出してください。摺り切り用に1本多く用意します。

※土壌種類別の土の使用量はアプリで確認することができます

シリンジ



1本のサンプルにつき、1mlシリンジ1本、5mlシリンジ1本を使用します。必要な分だけ袋から取り出してください。

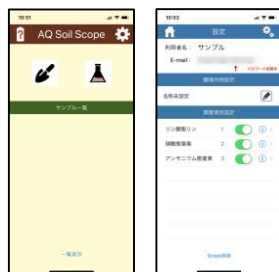
シリンジフィルター・プラスチック針



1本のサンプルにつき、それぞれ1つずつ使用します。必要な数だけ袋から取り出してください。


サンプル調製準備

土壌種類と採取量の確認




AQ Soil Scope アプリを立ち上げます。


※取扱説明書を参照し、アプリのユーザ登録を済ませてください。

ホーム画面の  をタップして設定画面を開きます。



圃場作物設定欄の右の  をタップして設定一覧を開きます。

右上の  をタップしてサンプル圃場設定画面を開きます。

サンプル土壌選択の  をタップして土壌説明を開きます。



下までスクロールすると、分析のための土壌採取量が確認できます。

サンプル調製準備

抽出液・希釈液の必要量

成分	抽出液 (1本分)	抽出液 (5本分)	希釈液 (1本分)	希釈液 (5本分)
りん酸	20mL	100mL	24mL	120mL
硝酸	20mL	100mL	24mL	120mL

サンプル調製に使用する土量

	畑 (黒ボク土)	畑 (普通土)	畑 (粘土)	水田
りん酸				
生土	1.25mL	1.25mL	1mL	2mL
乾土	1mL	1mL	1mL	1mL
硝酸	畑 (黒ボク土)	畑 (普通土)	畑 (粘土)	水田
生土	2.5mL	2.5mL	2mL	4mL
乾土	2mL	2mL	2mL	2mL

サンプル調製



抽出液

採取した土壌を袋ごと振るなどして均一化し、分析する項目と土壌種類に合った量を計量スプーンに摺り切り採取する。
(例：りん酸・黒ボク土・生土なら1.25ml)

※石や根などは混入しないように採取する

抽出液を入れた抽出用ポリ容器（黄色のふた）に計量した土を入れて、ふたを閉めて1分間振盪し、しばらく静置する。

※廃棄処理方法参照



希釈液

1mlシリンジを用いて、静置後の抽出液の上澄みを1ml採取し、希釈用ポリ容器（ピンクのふた）に入れる。

希釈用ポリ容器に希釈液を洗浄瓶から加え、25mlに調整する。

ふたをして10回程度振盪する。

※廃棄処理方法参照

サンプル調製



パケットテスト

パケットテストを1本取り出し、紐がある方を上にして、パケットテスト用穴あけで上から穴を開ける。



5mlシリンジを用いて、希釈用ポリ容器の液を2.5~3ml程度採取する。



シリンジの先端にシリンジフィルターとプラスチック針を取り付ける。



パケットテストに開けた穴にプラスチック針を差し込み、パケットテストの半分程度まで液を注入する。

パケットテストの穴を指でふさぎ、パケットテスト内の発色試薬が溶けるまで、1分程度振盪する。

※廃棄処理方法参照



測定

発色が安定するまで10min程度静置し、その間にアプリを立ち上げ、AQ-Scope Soil本体の測定準備をする。

※キャリブレーション時に本体の電池残量を確認する



発色が安定したらAQ-Scope Soil本体のふたを開け、パケットテストに開けた穴を上にして挿入し、ふたを閉じて測定する。



※廃棄処理方法

抽出液（パケットテスト内の液）、抽出・希釈用ポリ容器の液については、下水や川に排水できません。廃棄用チャック付き袋に凝固剤を入れ、液を凝固剤に吸収させてから一般ごみとして廃棄してください。

